



富田 たく



です。

日本共産党杉並区議団控室 電話 3312-2111(2319) FAX 3312-2610
メ-ル info@tomitaku.jp ツイ-タ- http://twitter.com/tomita_taku
ホ-ムペ-ジ http://www.tomitaku.jp

共産党区議団の独自測定が杉並区を動かす！！

党区議団の指摘で区が再測定！



↑ 区の測定を立ち会いしながら、区議団の測定器にて計測（方南中央公園のトイレ裏）

再び党区議団に区から測定立ち会いの依頼が

今年8月から党区議団では、区内の放射線量の独自測定を行っています。9月にはその結果をもとに、高線量箇所を除染を求めて区へ申し入れを行ってまいりました。

10月末には私たちの測定で最高線量となった四ノ宮森公園を除染が区によって行われました。その後、他の高線量箇所についても対応を行うことを区に求め続けてまいりましたが、このたび区から再測定を行う旨の連絡があり、正式に党区議団に立ち会い依頼がございました。

再測定は12月8日（木）に行われ、私たちの8月測定で高線量を記録した区内の公園4カ所で行われ、私・富田たくも区職員と共に測定立ち会いを行いました。

区の再測定の結果(12/8)

①方南中央公園

場所：トイレ裏雨樋の下（地表1cm）
区の測定結果：0.25μSv/h
党区議団測定：0.35μSv/h（8/17測定）

②べんてんばし公園

場所：トイレ裏雨樋の下（地表1cm）
区の測定結果：0.20μSv/h
党区議団測定：0.39μSv/h（8/17測定）

③桃井はらっぱ公園

場所：公園通路けやき下（地表1cm）
区の測定結果：0.26μSv/h
党区議団測定：0.30μSv/h（8/26測定）

線量は低下傾向だが、依然高線量。区は対応を拒否。

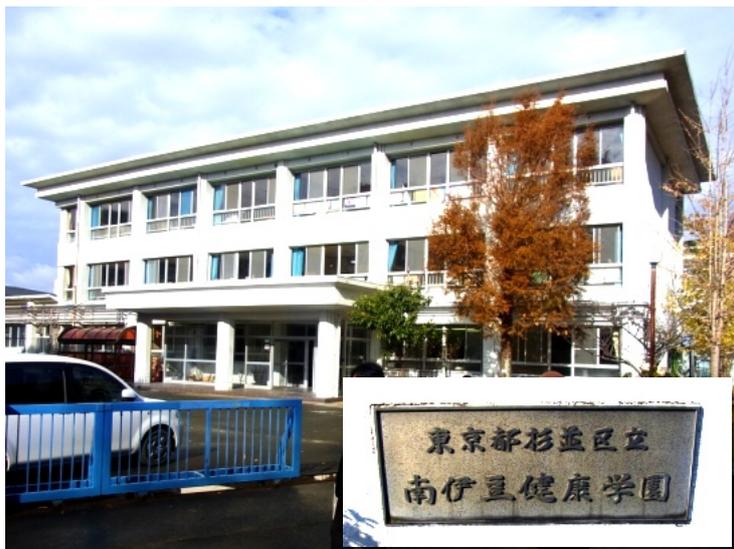
8月の測定から3カ月が経ち、どのポイントも線量は低下傾向でありましたが、それでも年間積算で1ミリシーベルトを超えるといわれる時間0.23マイクロシーベルトを超える箇所がありました。

しかし杉並区は国の除染基準に達しないことから除染や洗浄などの対応を行いませんでした。

国の除染基準は時間1マイクロシーベルト以上と決して安全とは言えないものです。年間積算1ミリシーベルトを超える箇所を無くし、子どもたちの健康被害の心配がなくなるよう、私たちは引き続き区への働きかけを強めてまいります。

健康学園の38年の歴史を閉じて良いのか?!

**南伊豆健康学園廃止が可決
共産党区議団は存続を主張!!**



↑38年の歴史を刻む「南伊豆健康学園」の園舎

12月9日に終了した第4回定例議会、区立南伊豆健康学園の廃止議案が可決されました。

健康学園は昨年の杉並版事業仕訳で廃止の結果が出されていきました。この

事業仕分けについては、現地確認もしていない仕訳人が金銭面だけを取り上げ、廃止としたことに多くの現場教師や専門家から批判が上がっていました。しかし議会では自公民だけでなく、ネットみどりの会派も賛成し、廃止条例が可決しました。

38年の歴史が生んだ 杉並区の教育の宝

喘息や肥満など社会的病理に悩む児童の健康回復と教育の保障を目的として、1974年に全寮制の学校として開園しました。南伊豆の大自然と



↑全学年入り乱れて生活する寮

熱心な教職員、そして全寮制で日々生活を共にする学友が育む教育。肥満は半年もすれば解消し、喘息は薬がなくても発作が止まるなど、その様子はテレビにも取り上げられ、学園の奇跡と称賛されてきました。

富田たくも学園の授業や建物などを視察し、改めて38年かけて現場の教職員の方々が作りだしてきた指導方法や運営方針が、杉並区にとって極めて貴重な財産であることを認識してきました。

代替案は学園のかわりになるか?

区教委は学園廃止の代替案として、区内での健康教育の推進、小児生活習慣病診断の拡充、適応指導教室の創設などをあげています。しかし、学園の奇跡とも言われた教育の代替策としては全く不十分であり、今後は復活を求めて活動を続けて参ります。



↑理想的な少人数学級の授業風景

日本共産党発行



日刊●月3,400円
日曜版●月800円

国民の声をのせる!!

【ご購入の連絡先】

◇日本共産党 富田たく 事務所

TEL : 3314-5551

FAX : 3318-1492

放射線量測定します!

ご自宅の周りや公園など放射線の気になる場所はありませんか?

ご希望がありましたら、私たちの測定器で測定します。

お気軽にご連絡を!